

# 仙台市 下水道施設構造等標準図

令和 4年 3月

仙台市建設局

1. 下水道布設一般図（分流式・合流式）	1
2. 管製品詳細図	
○ 下水道用鉄筋コンクリート管	4
○ 下水道用硬質塩化ビニル管	7
○ <b>下水道用可とう支管継手</b>	<b>17</b>
○ 下水道用強化プラスチック複合管	18
○ 下水道推進工法用鉄筋コンクリート管	20
○ 下水道小口径推進工法用鉄筋コンクリート管	24
○ 下水道推進工法用硬質塩化ビニル管	26
○ 下水道用ダクタイル鋳鉄管	29
○ 下水道用リップ付硬質塩化ビニル管	33
○ <b>下水道用リップ付硬質塩化ビニル管可とう支管継手</b>	<b>40</b>
○ <b>鉄筋コンクリート管・陶管交換用継手</b>	<b>41</b>
3. 管渠の基礎	
○ 管渠基礎工の種類	42
○ 砂基礎（可とう性管）	43
○ まくら土台基礎（剛性管）	44
○ はしご胴木基礎（剛性管）	45
○ コンクリート巻立基礎（剛性管）（90°・120°・180°）	46

# 仙台市 下水道施設構造等標準図

平成 29年 3月

仙台市建設局

1. 下水道布設一般図（分流式・合流式）	1
2. 管製品詳細図	
○ 下水道用鉄筋コンクリート管	4
○ 下水道用硬質塩化ビニル管	7
○ 下水道用強化プラスチック複合管	17
○ 下水道推進工法用鉄筋コンクリート管	19
○ 下水道小口径推進工法用鉄筋コンクリート管	23
○ 下水道推進工法用硬質塩化ビニル管	25
○ 下水道用ダクタイル鋳鉄管	28
○ 下水道用リップ付硬質塩化ビニル管	32
3. 管渠の基礎	
○ 管渠基礎工の種類	39
○ 砂基礎（可とう性管）	40
○ まくら土台基礎（剛性管）	41
○ はしご胴木基礎（剛性管）	42
○ コンクリート巻立基礎（剛性管）（90°・120°・180°）	43

4. マンホール

○ 形状別使用基準	50
○ マンホール構造標準図(1~7号)	52
○ 特殊マンホール構造標準図(A型、特1号~特4号)	59
○ マンホール頂版鉄筋数量表	64
○ 壁立ち上がり鉄筋数量表	65
○ 組立マンホール形状別使用基準	66
○ 組立マンホール構造標準図及び使用数量表	67
○ 副管取付構造図	88
○ 貼付型内副管取付構造図	90
○ 飛散防止板取付構造図	92
○ マンホール内インパート設置標準図	93
○ マンホール鉄蓋及び蓋受け金物構造図(T-25・T-14・化粧蓋)	95
○ マンホール側塊詳細図(直壁・片斜壁)	101
○ わく据付図(調整リング用)	103
○ 足掛金物設置位置標準図	104
○ 足掛金物取付図(側塊用・現場打用・後付け)	105
○ 埋設表示テープ標準図	108
○ マンホール可とう継手	109

○ 中間スラブ付組立マンホール図	110
------------------	-----

5. 汚水ます及び雨水ます

○ 公共汚水ます構造図(330用・400以上)	111
○ 公共汚水ます用底版ブロック構造図	113
○ 公共雨水ます構造図(330用・400以上)	114
○ 公共雨水ます用底版ブロック構造図	116
○ 公共ます蓋(丸型密閉防臭形)構造図	117
○ 透水性公共雨水ます構造図	121
○ 雨水浸透ます構造図(330・400・450・600用)	122
○ 仙台市型浸透防臭二連ます構造図	126
○ 下水道用硬質塩化ビニル製ます構造図	127
○ 取付管撤去・閉塞工標準図	129

6. 参考図

○ 下水道用陶管(参考図)	130
○ わく据付図(調整レンガ用)(参考図)	135
○ 公共雨水ます構造図(角型)(参考図)	136
○ 露出配管設置例(参考図)	137
○ 内副管取付構造図(参考図)	138

4. マンホール

○ 形状別使用基準	47
○ マンホール構造標準図(1~7号)	49
○ 特殊マンホール構造標準図(A型、特1号~特4号)	56
○ マンホール頂版鉄筋数量表	61
○ 壁立ち上がり鉄筋数量表	62
○ 組立式マンホール形状別使用基準	63
○ 組立式マンホール構造標準図及び使用数量表	64
○ 副管取付構造図	85
○ マンホール内インパート設置標準図	87
○ マンホール鉄蓋及び蓋受け金物構造図(T-25・T-14・化粧蓋)	89
○ マンホール側塊詳細図(直壁・片斜壁)	95
○ わく据付図(調整リング用)	97
○ 足掛金物設置位置標準図	98
○ 足掛金物取付図(側塊用・現場打用・後付け)	99
○ 埋設表示テープ標準図	102

5. 汚水ます及び雨水ます

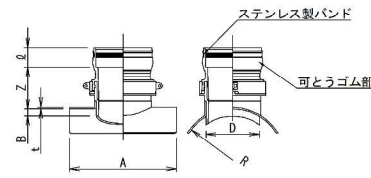
○ 公共汚水ます構造図(330用・400以上)	103
○ 公共汚水ます用底版ブロック構造図	105
○ 公共雨水ます構造図(330用・400以上)	106
○ 公共雨水ます用底版ブロック構造図	108
○ 公共ます蓋(丸型密閉防臭形)構造図	109
○ 透水性公共雨水ます構造図	113
○ 雨水浸透ます構造図(330・400・450・600用)	114
○ 仙台市型浸透防臭二連ます構造図	118
○ 下水道用硬質塩化ビニル製ます構造図	119

6. 参考図

○ 下水道用陶管(参考図)	121
○ わく据付図(調整レンガ用)(参考図)	126
○ 公共雨水ます構造図(角型)(参考図)	127
○ 露出配管設置例(参考図)	128
○ 飛散防止板設置例(参考図)	129
○ 内副管取付構造図(参考図)	130

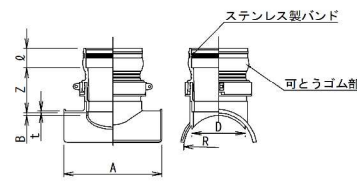
下水道用可とう支管継手

本管鉄筋コンクリート管・陶管用



呼び径	Z	φ	t	A		D	R	呼び径	Z	φ	t	A		D	R
				(最小)	(最大)							(最小)	(最大)		
200 - 150				26		133.5	260 - 200					26		159.0	
250 - 150				26		159.0	300 - 200					28		190.0	
300 - 150				28		180.0	350 - 200					30		210.0	
350 - 150				30		210.0	400 - 200					33		235.0	
400 - 150	130	60	5	30		235.0	450 - 200	163.5	73.5	5	300	40	216	260.0	
450 - 150				36		260.0	500 - 200					46		285.0	
500 - 150				40		315.0	600 - 200					48		350.0	
600 - 150				48		350.0	700 - 800 - 200					56		408.0	
700 - 800 - 150				56		408.0	1000 - 1350 - 200					79		582.0	
1000 - 1350 - 150				79		582.0	1500以上 - 200					108		882.0	
1500以上 - 150				108		882.0									

硬質塩化ビニル管用



呼び径	Z	φ	t	A		D	R
				(最小)	(最大)		
200 - 160				6.6		108.0	
250 - 150				7.8		133.5	
300 - 150				9.2		159.0	
350 - 150	130	60	5	10.5	165	185.0	
400 - 150				11.8		210.0	
450 - 150				13.2		235.0	
500 - 150				14.6		260.0	
600 - 150				17.8		315.0	
250 - 200				7.8		193.5	
300 - 200				9.2		219.0	
350 - 200				10.5		244.5	
400 - 200	163.5	73.5	5	11.8	216	210.0	
450 - 200				13.2		235.0	
500 - 200				14.6		260.0	
600 - 200				17.8		315.0	

名称・規格	参考標準コード
下水道用可とう支管継手 本管φ 200~φ1800×150	ZN0220001
下水道用可とう支管継手 本管φ 200~φ600×150	ZN0220002
下水道用可とう支管継手 本管φ 250~φ600×150	ZN0220003
下水道用可とう支管継手 本管φ 250~φ1800×200	ZN0220004
下水道用可とう支管継手 本管φ 250~φ600×200	ZN0220005
下水道用可とう支管継手 本管φ 250~φ600×200	ZN0220006

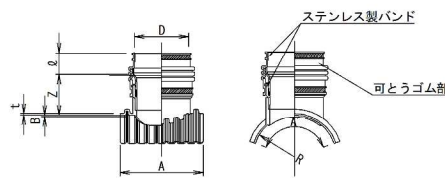
- 呼び径は、「本管呼び径-取付け管呼び径」である。
- Rは、標準値を示す。
- Zの許容差は、±10mmとする。
- 性能上支障のない場合は、寸法が多少異なっても協議の上使用することができる。
- 可とうゴム部分での曲げ配管は行わないこと。

仙台市建設局

旧版に記載なし

下水道用リップ付硬質塩化ビニル管可とう支管継手

下水道用リップ付硬質塩化ビニル管用



呼び径	Z	φ	t	A		D	R
				(最小)	(最大)		
200 - 150	123			260	236	4.6	104.0
250 - 150	126			258	320	5.0	129.0
300 - 150	133	70	4	305	5.5	168	155.0
350 - 150	136			290	5.8		180.0
400 - 150	139			320	6.5		208.0
450 - 150	142				6.7		231.0

- 呼び径は、「本管呼び径-取付け管呼び径」である。
- Rは、標準値を示す。
- Zの許容差は、±10mmとする。
- 性能上支障のない場合は、寸法が多少異なっても協議の上使用することができる。
- 可とうゴム部分での曲げ配管は行わないこと。

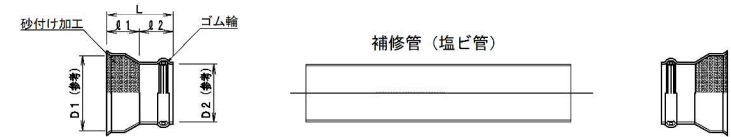
名称・規格	参考標準コード
下水道用可とう支管継手 本管φ 200~φ300×φ150	ZN0220107
下水道用可とう支管継手 本管φ 350×φ150	ZN0220102
下水道用可とう支管継手 本管φ 400×φ150	ZN0220103
下水道用可とう支管継手 本管φ 450×φ150	ZN0220104

仙台市建設局

旧版に記載なし

鉄筋コンクリート管・陶管交換用継手

鉄筋コンクリート管・陶管交換用継手



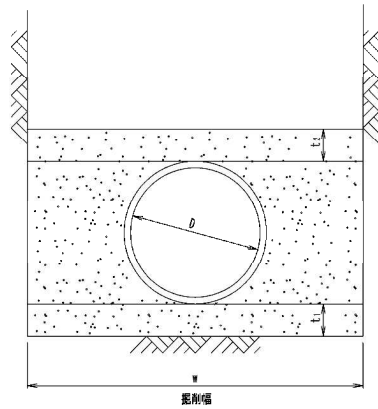
呼び径	D1 (参考)	D2 (参考)	Δ1	Δ2	L	参考標準コード
100	158	114.5	90±5	82±5	172±10	-
125	190	140.6	110±5	95±5	205±10	-
150	220	165.7	120±5	110±5	230±10	Zk2022045
200	280	216.9	120±5	126±5	246.5±10	Zk2022048
250	340	268.1	120±5	155±5	275±10	Zk2022047
300	400	319.3	120±5	175±5	295±10	Zk2022048

注1) ゴム輪受口によるヤトリ機能付

旧版に記載なし

仙台市建設局

基礎構造図 (可とう性管の場合)



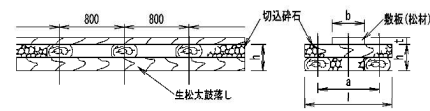
寸法表

管径 (D)	t1	t2	w
150	100	100	掘削幅
200~250	100	100	"
300	100	100	"
350	150	100	"
400	150	100	"
450	150	100	"

注1. 砂基礎工に使用する砂は、最大粒径20mm以下74μmふるい通過量が10%以下とする。  
注2. 管径の砂層は10cm以上を確保する。

(参考)

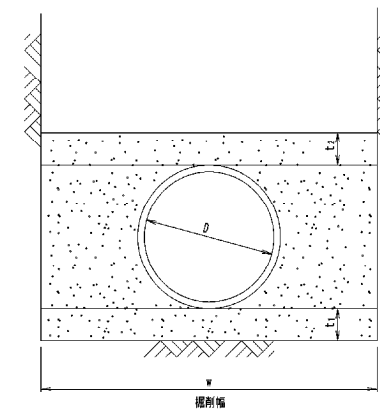
管の呼び	切込砕石 厚さ (h)	はしご間隔 (a)	はしご深さ (l)	掘削幅 (h)	掘削幅 (b)	掘削幅 (t)
200~400	165	300	450	165	160~300	15
450~600	180	400	600	180	340~450	15
700~800	240	600	900	240	520~600	15



軟弱地盤の基礎例

仙台市建設局

砂基礎構造図 (可とう性管の場合)



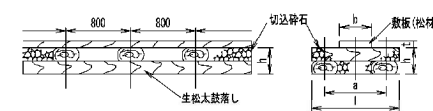
寸法表

管径 (D)	t1	t2	w
200~250	100	100	掘削幅
300	100	100	"
350	150	100	"
400	150	100	"
450	150	100	"

砂基礎工に使用する砂は、最大粒径20mm以下74μmふるい通過量が10%以下の川砂等とする。

(参考)

管の呼び	切込砕石 厚さ (h)	はしご間隔 (a)	はしご深さ (l)	掘削幅 (h)	掘削幅 (b)	掘削幅 (t)
200~400	165	300	450	165	160~300	15
450~600	180	400	600	180	340~450	15
700~800	240	600	900	240	520~600	15



軟弱地盤の基礎例

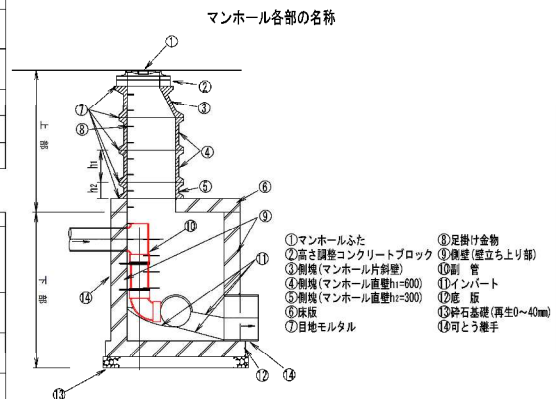
仙台市建設局



マンホール形状別使用基準及び各部名称 (組立マンホールを除く)

標準マンホールの形状別使用基準		
呼び方	形状寸法	使用基準
1号マンホール	内径 90cm 円形	本管4本の合点では、2号以上のマンホールを設置すること。 管の起点および500mm以下の管の中間点ならびに内径40mm以下の管の合点。マンホール深4.5m以下
2号マンホール	内径 120cm 円形	内径900mm以下の管の中間点および内径400mm以下の管の合点。マンホール深4.5m以下
3号マンホール	内径 150cm 円形	内径1200mm以下の管の中間点および内径800mm以下の管の合点。マンホール深4.5m以下
4号マンホール	内径 180cm 円形	内径1500mm以下の管の中間点および内径900mm以下の管の合点。マンホール深4.5m以下
6号マンホール	内径 (法) 210 × 120cm 角形	内径1800mm以下の管の中間点。マンホール深4.5m以下
6号マンホール	内径 (法) 260 × 120cm 角形	内径2200mm以下の管の中間点。マンホール深4.5m以下
7号マンホール	内径 (法) 300 × 120cm 角形	内径2400mm以下の管の中間点。マンホール深4.5m以下

特殊マンホールの形状別使用基準		
呼び方	形状寸法	使用基準
特1号マンホール	内径 (法) 60 × 90cm 角形	土かぶりがない場合、他の埋設物等の関係で1号マンホールが設置できない場合。マンホール深5.0m以下
特2号マンホール	内径 (法) 120 × 120cm 角形	内径1000mm以下の管の中間点で、円形マンホールが設置できない場合。マンホール深5.0m以下
特3号マンホール	内径 (法) 140 × 120cm 角形	内径1200mm以下の管の中間点で、円形マンホールが設置できない場合。マンホール深5.0m以下
特4号マンホール	内径 (法) 180 × 120cm 角形	内径1500mm以下の管の中間点で、円形マンホールが設置できない場合。マンホール深5.0m以下
現場打ち管きりマンホール	内径 90, 120cm 角形	長方形および、馬てい (脚) 形きり等およびシールド工法による下水管きりの中間点。ただし、Dは管きりの内径。
特殊マンホールA型	内径 60cm 円形 (高さ調整ブロックは、組立1号マンホールと同じものを使用する。)	内径250mm以下の管の中間点で、起点には使用しない。マンホール深4.5m以下
割管付きマンホール		管きりの段差が0.6m以上となる場合。



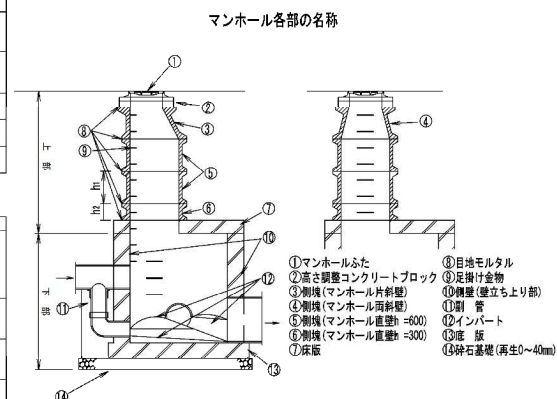
※ 転落防止用はごは、次のいずれかに該当する場合に設置する。  
マンホール深2.0m以上  
流出管径がφ300mm以上 (く形きりの場合は、管きりの断面積換算で決定する。)

仙台市建設局

マンホール形状別使用基準及び各部名称 (組立マンホールを除く)

標準マンホールの形状別使用基準		
呼び方	形状寸法	使用基準
1号マンホール	内径 90cm 円形	本管4本の合点では、2号以上のマンホールを設置すること。 管の起点および500mm以下の管の中間点ならびに内径40mm以下の管の合点。マンホール深4.5m以下
2号マンホール	内径 120cm 円形	内径900mm以下の管の中間点および内径400mm以下の管の合点。マンホール深4.5m以下
3号マンホール	内径 150cm 円形	内径1200mm以下の管の中間点および内径800mm以下の管の合点。マンホール深4.5m以下
4号マンホール	内径 180cm 円形	内径1500mm以下の管の中間点および内径900mm以下の管の合点。マンホール深4.5m以下
6号マンホール	内径 (法) 210 × 120cm 角形	内径1800mm以下の管の中間点。マンホール深4.5m以下
6号マンホール	内径 (法) 260 × 120cm 角形	内径2200mm以下の管の中間点。マンホール深4.5m以下
7号マンホール	内径 (法) 300 × 120cm 角形	内径2400mm以下の管の中間点。マンホール深4.5m以下

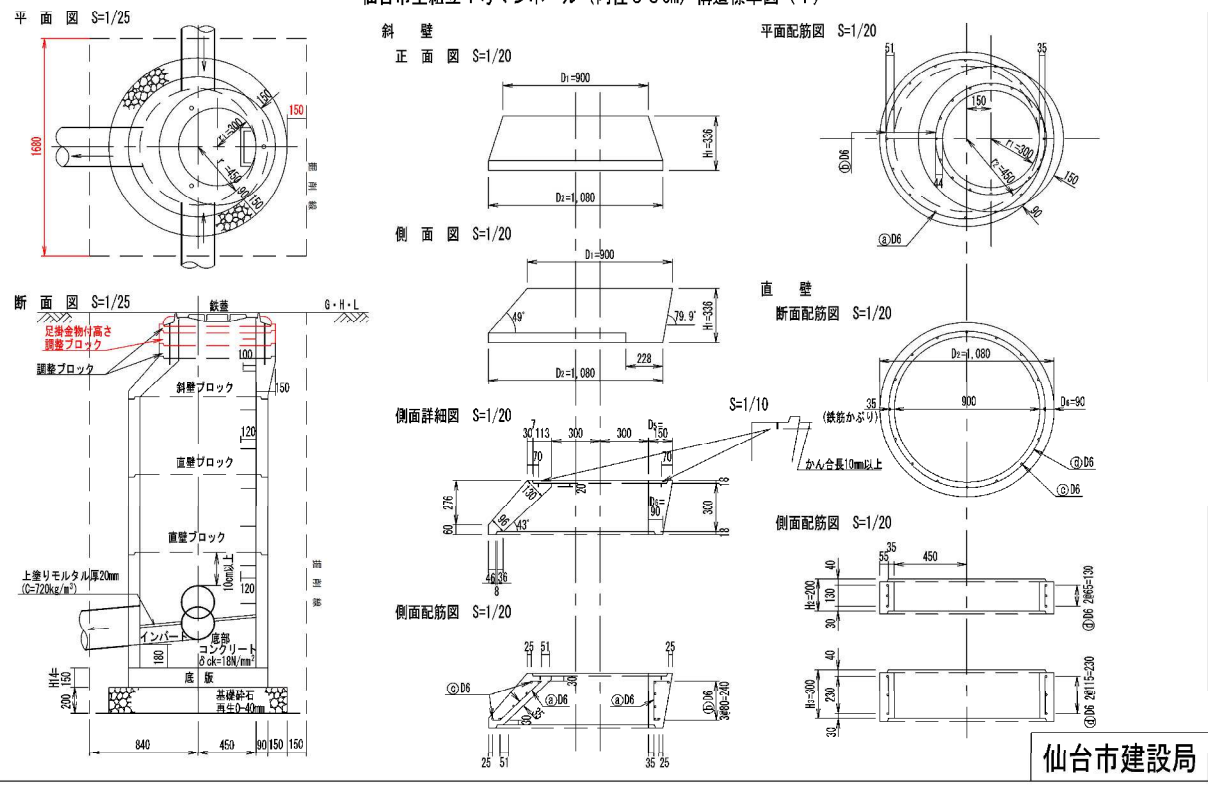
特殊マンホールの形状別使用基準		
呼び方	形状寸法	使用基準
特1号マンホール	内径 (法) 60 × 90cm 角形	土かぶりがない場合、他の埋設物等の関係で1号マンホールが設置できない場合。マンホール深5.0m以下
特2号マンホール	内径 (法) 120 × 120cm 角形	内径1000mm以下の管の中間点で、円形マンホールが設置できない場合。マンホール深5.0m以下
特3号マンホール	内径 (法) 140 × 120cm 角形	内径1200mm以下の管の中間点で、円形マンホールが設置できない場合。マンホール深5.0m以下
特4号マンホール	内径 (法) 180 × 120cm 角形	内径1500mm以下の管の中間点で、円形マンホールが設置できない場合。マンホール深5.0m以下
現場打ち管きりマンホール	内径 90, 120cm 角形	長方形および、馬てい (脚) 形きり等およびシールド工法による下水管きりの中間点。ただし、Dは管きりの内径。
特殊マンホールA型	内径 60cm 円形 (高さ調整ブロックは、組立1号マンホールと同じものを使用する。)	内径250mm以下の管の中間点で、起点には使用しない。マンホール深4.5m以下
割管付きマンホール		管きりの段差が0.6m以上となる場合。



※ マンホールのスラブまでの高さは、原則として2m以上を確保すること。  
※ 中間スラブについては、4.0m以内を確保すること。  
※ 調整ブロックの高さについては最大3.3mとすること。  
※ 標準マンホール、特殊マンホールの壁立ち高くなる (深い) 場合 (現場条件により異なる) については、構造計算を行うこと。

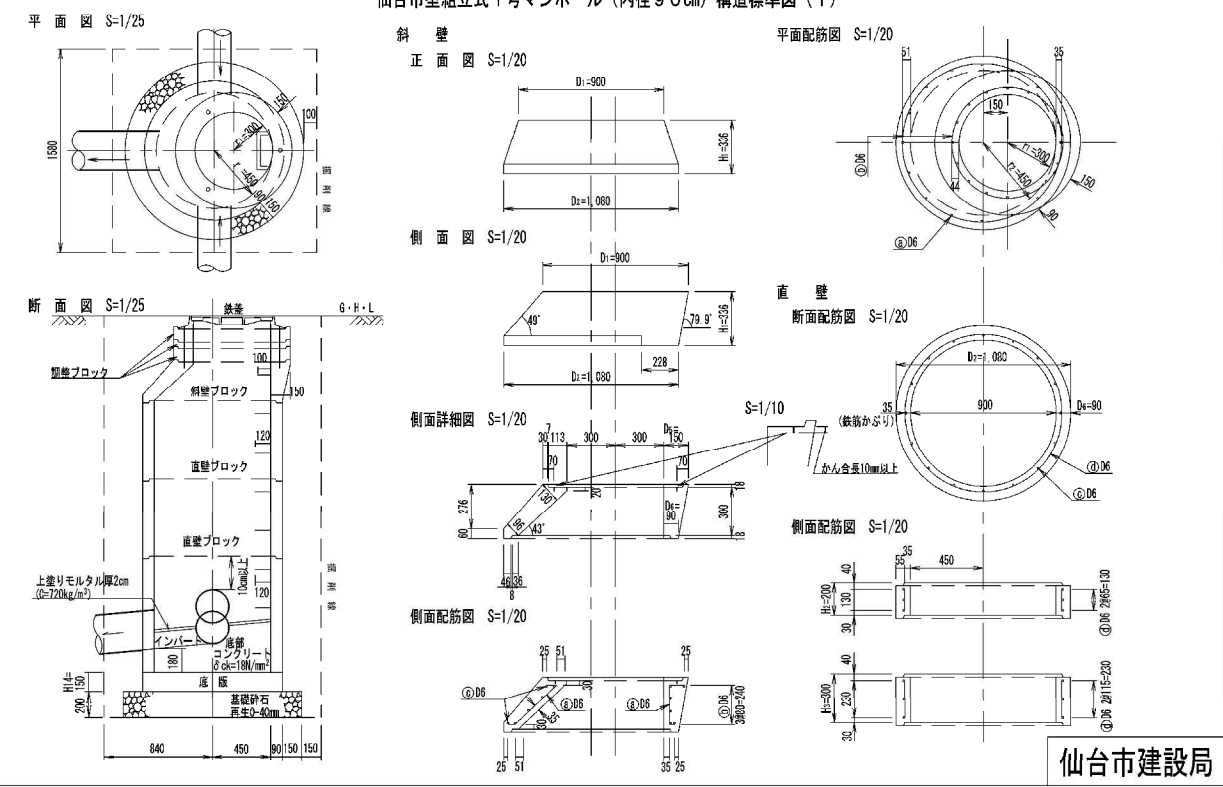
仙台市建設局

仙台市型組立1号マンホール (内径90cm) 構造標準図 (1)



仙台市建設局

仙台市型組立1号マンホール (内径90cm) 構造標準図 (1)

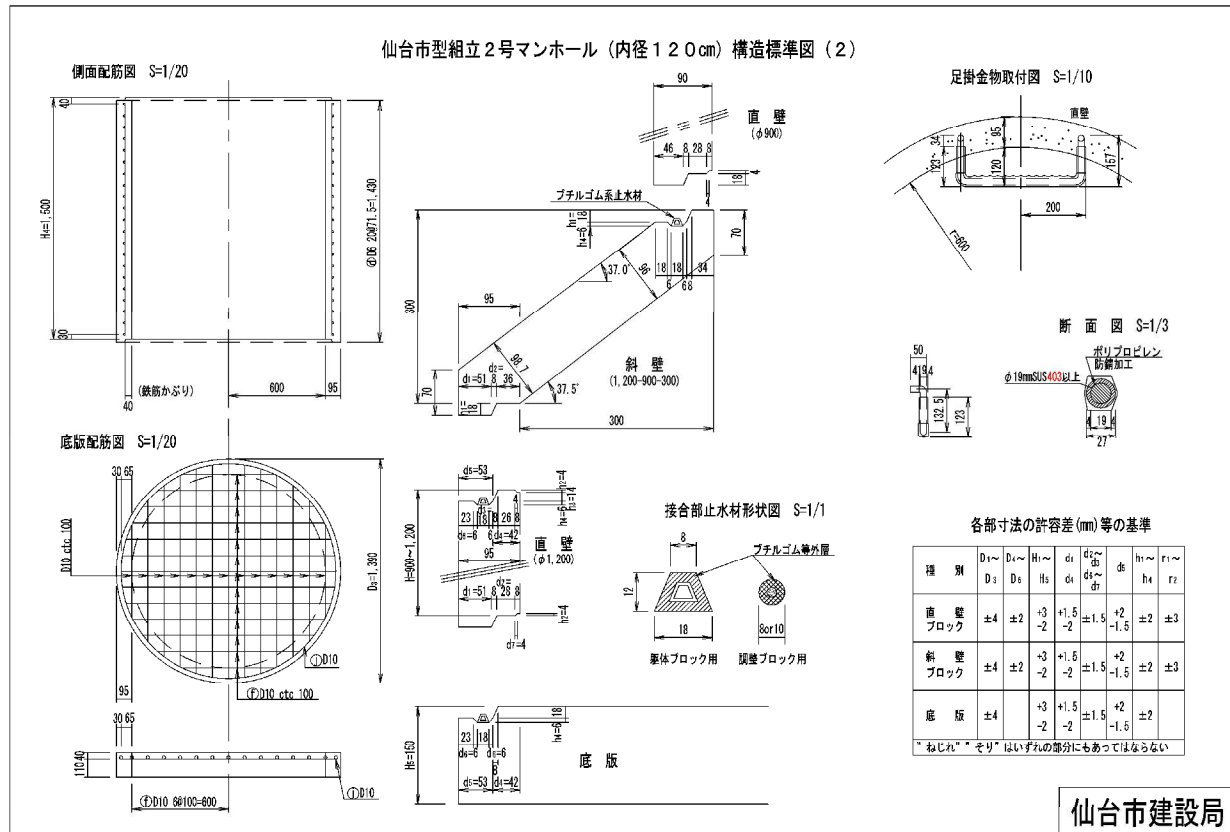


仙台市建設局

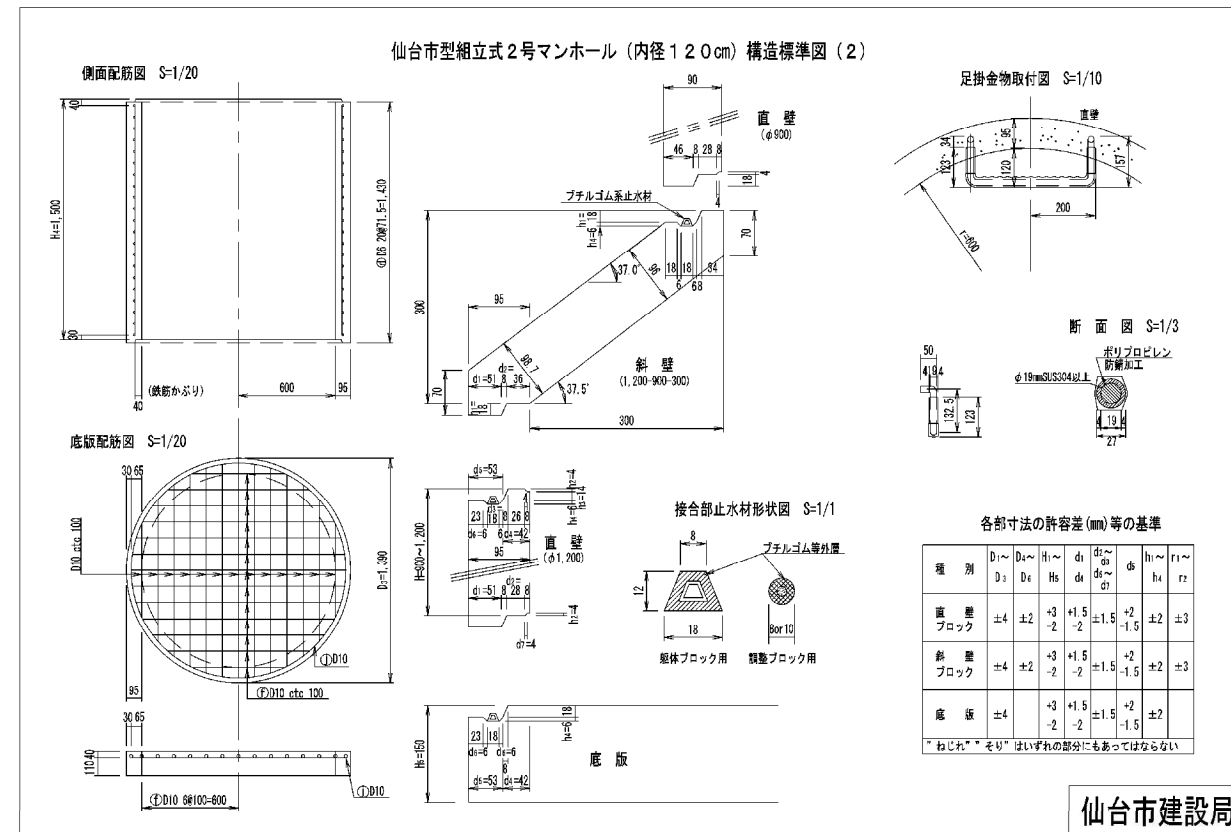




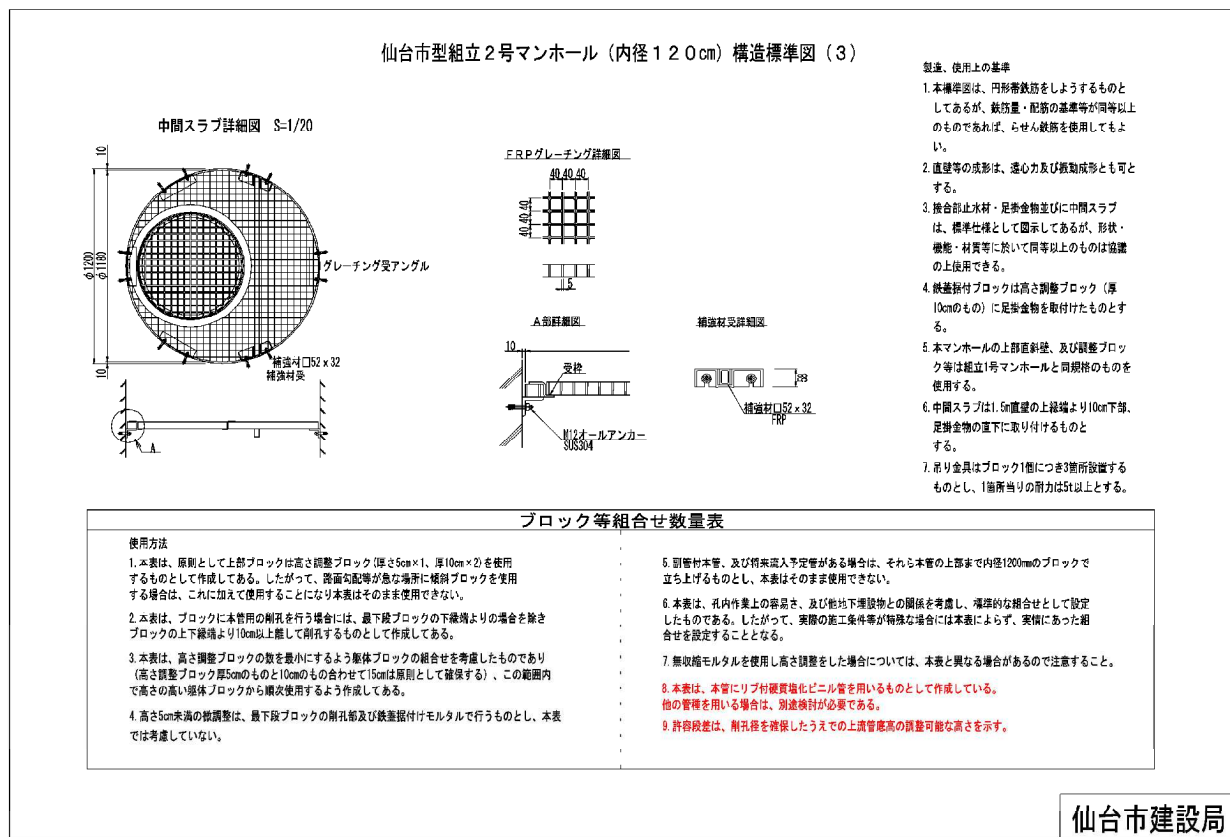




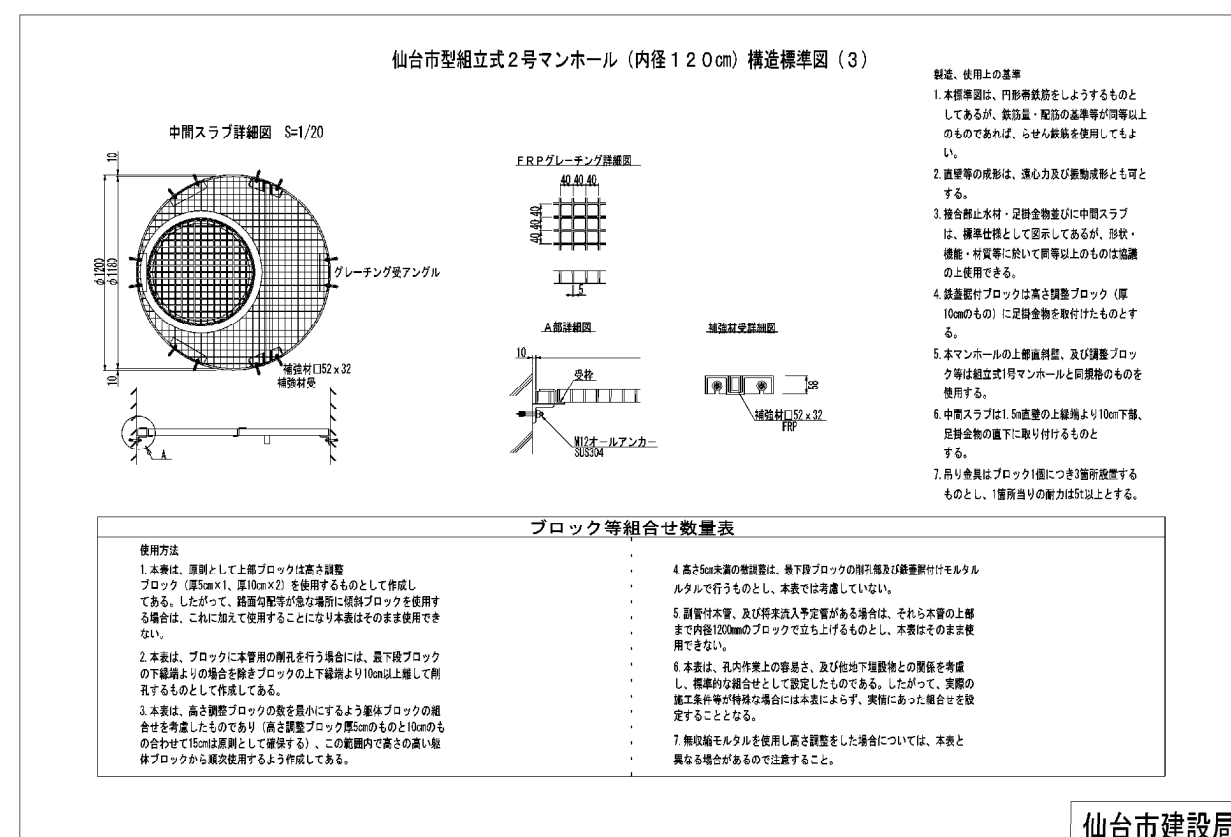
仙台市建設局



仙台市建設局



仙台市建設局



仙台市建設局



仙台市型組立2号マンホール (内径120cm) 組合せ数量表 (1)

Table with columns for manhole diameter (φ250 to φ500), height, and various block types (top, side, bottom, etc.). It includes a grid of counts for different combinations.

Reference table listing material names, specifications, and reference codes (e.g., ZN6570020, ZN6570090).

仙台市建設局

仙台市型組立2号マンホール (内径120cm) 組合せ数量表 (1)

Table with columns for manhole diameter (φ250 to φ500), height, and various block types. It includes a grid of counts for different combinations.

仙台市建設局

仙台市型組立2号マンホール (内径120cm) 組合せ数量表 (2)

Table with columns for manhole diameter (φ250 to φ500), height, and various block types. It includes a grid of counts for different combinations.

仙台市建設局

仙台市型組立2号マンホール (内径120cm) 組合せ数量表 (2)

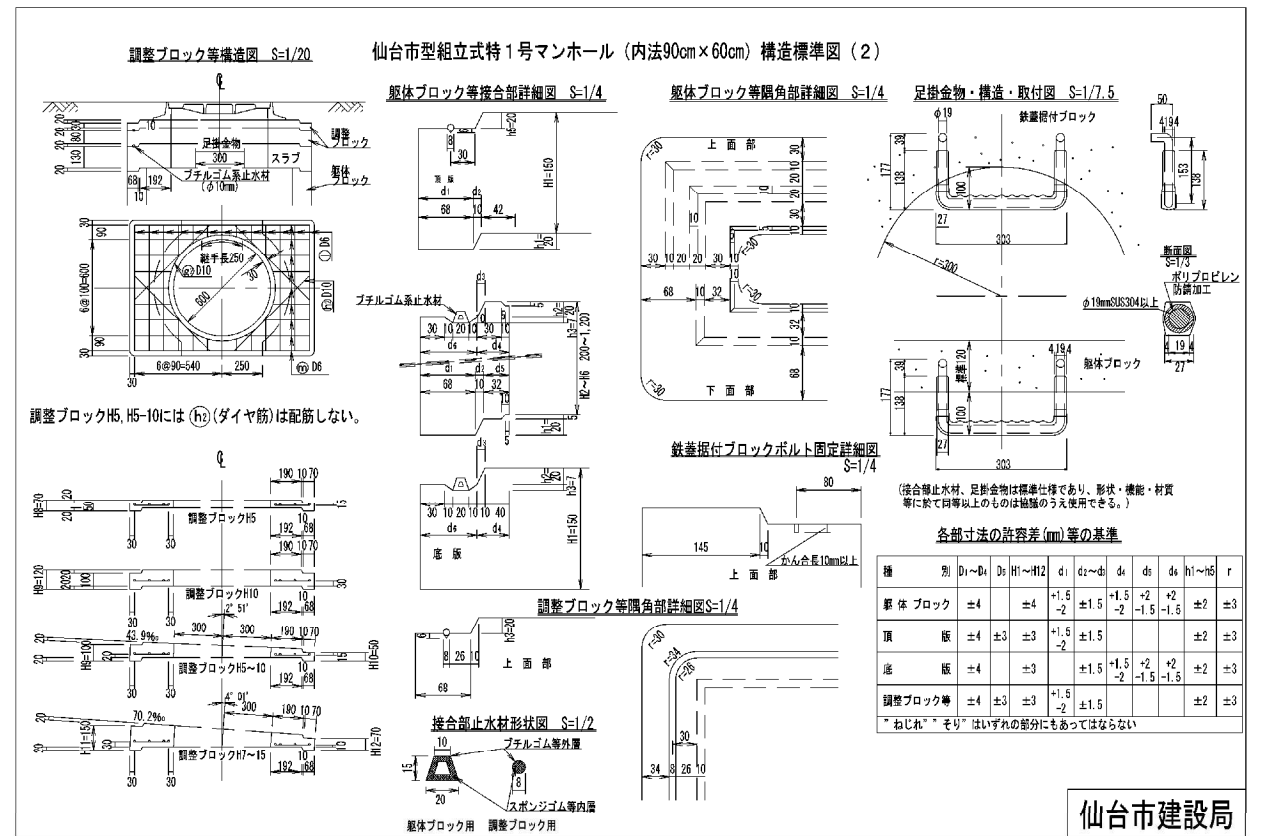
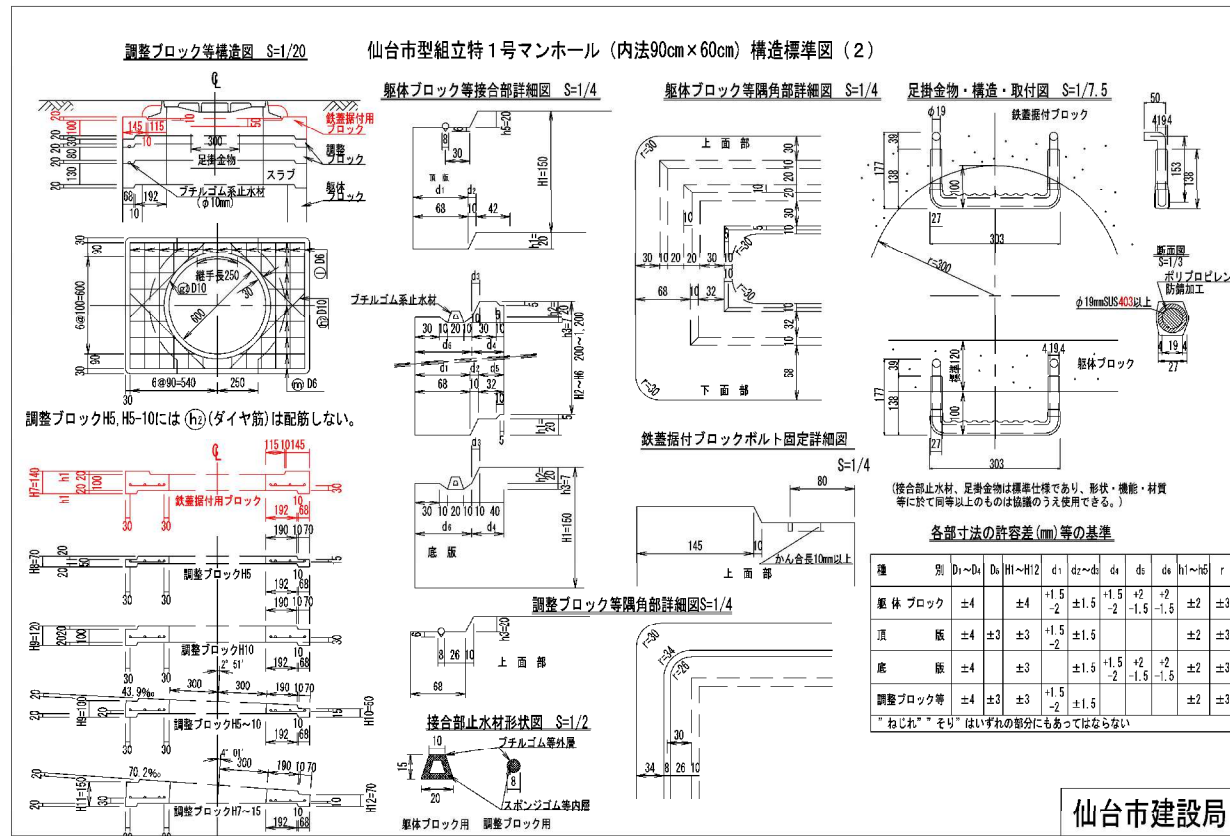
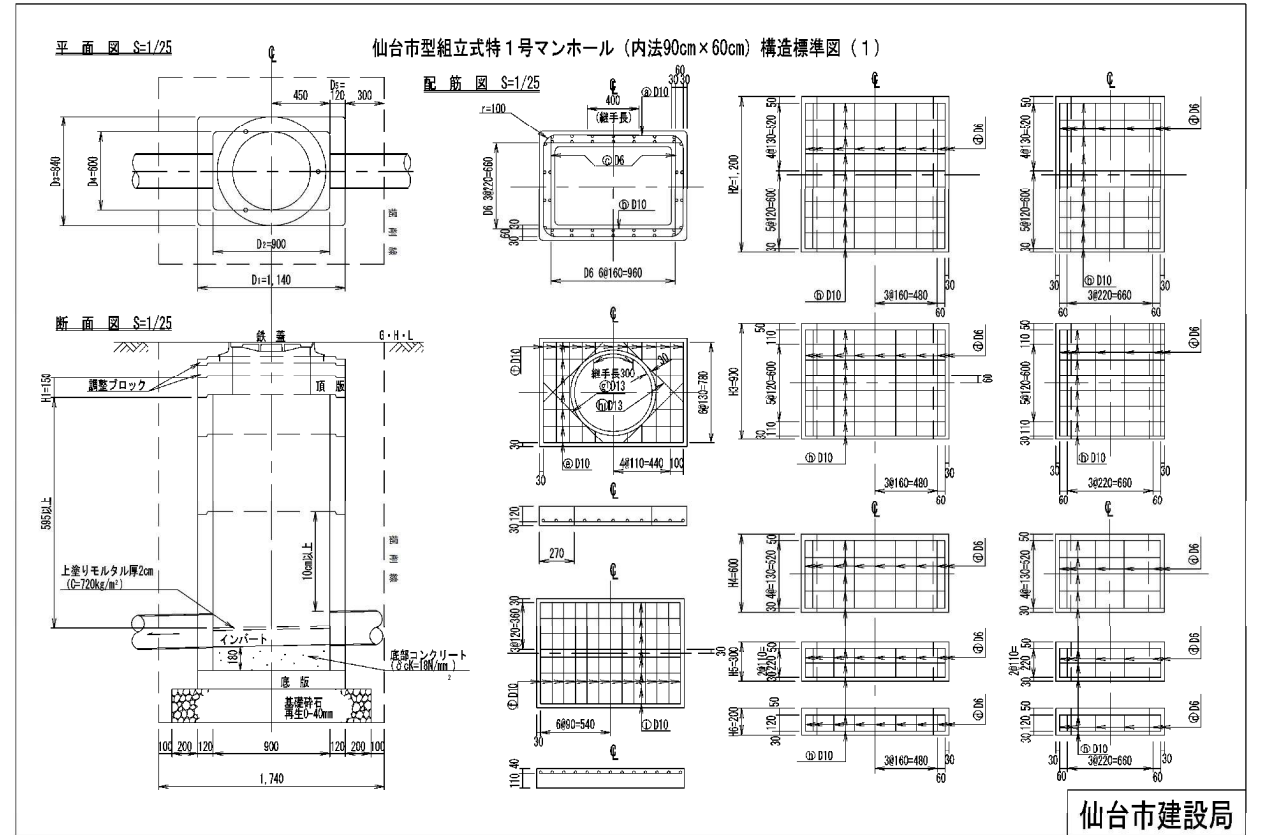
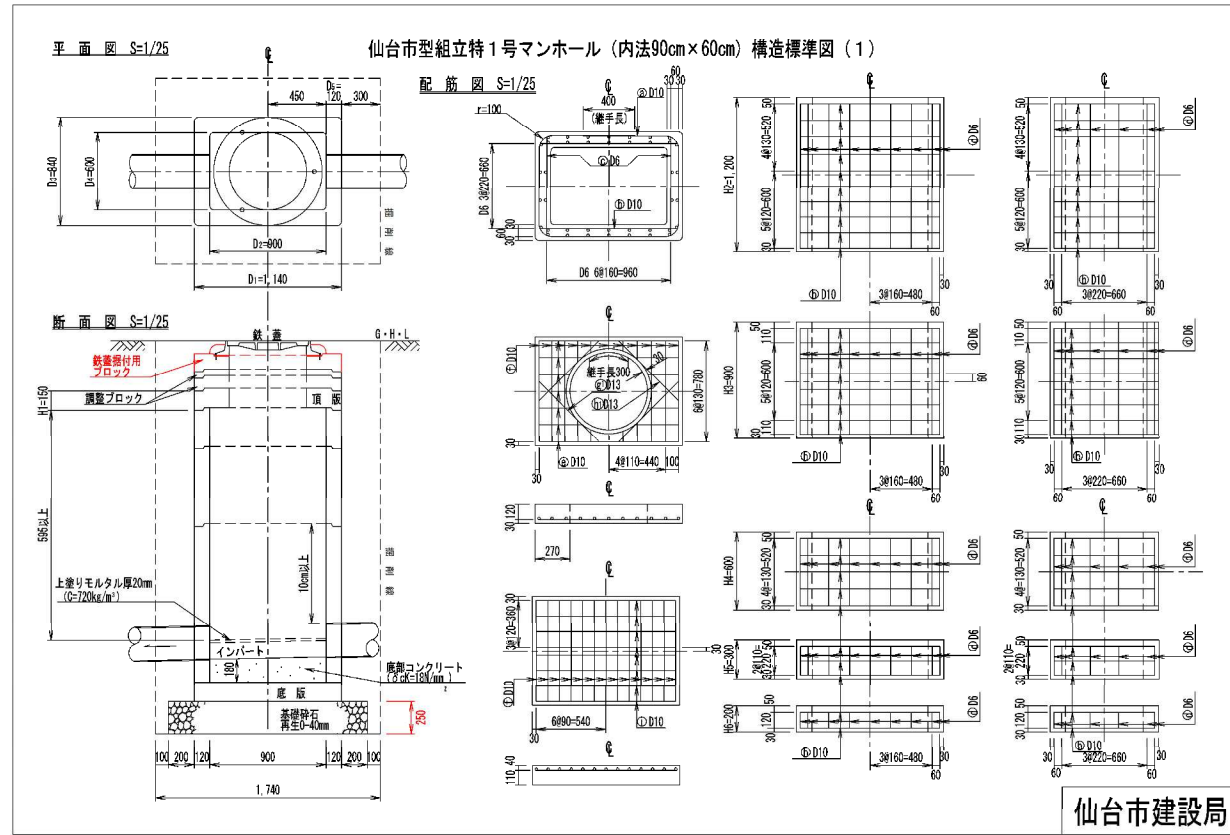
Table with columns for manhole diameter (φ250 to φ500), height, and various block types. It includes a grid of counts for different combinations.

仙台市建設局











マンホール径 (mm)	主管径及び配管径 (mm)					埋設深 0.15m	管間隙 0.15m	管底高 100mm 埋込 21m	管底高 100mm 埋込 21m	上蓋径ブロック										調整ブロック		止水シート材	
	φ200 b=14mm	φ250 b=26mm	φ300 b=42mm	φ350 b=61mm	φ400 b=85mm					h1 =0.2m	h2 =0.3m	h3 =0.6m	h4 =0.9m	h5 =1.2m	h6 =0.05m	h7 =0.10m	調整 ブロック 用	調整 ブロック 用	調整 ブロック 用	調整 ブロック 用			
2.5m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.456	1	1	1	1	1.20	1.40	1	1	1	1	1	4	3					
2.6m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.456	1	1	1	1	1.20	1.45	1	1	2	1	4	4						
3.0m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.456	1	1	1	1	1.20	1.50	1	1	1	1	4	3						
3.05m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.456	1	1	1	1	1.20	1.55	1	1	2	1	4	4						
3.1m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.456	1	1	1	1	1.20	1.60	2	1	1	1	5	3						
3.15m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.456	1	1	1	1	1.20	1.65	2	1	2	1	5	4						
3.2m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.456	1	1	1	1	1.20	1.70	1	1	1	1	5	3						
3.25m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.456	1	1	1	1	1.20	1.75	1	1	2	1	5	4						
3.3m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.456	1	1	1	1	1.20	1.80	1	1	1	1	4	3						
3.35m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.456	1	1	1	1	1.20	1.85	1	1	2	1	4	4						
3.4m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.456	1	1	1	1	1.20	1.90	2	1	1	1	5	3						
3.45m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.456	1	1	1	1	1.20	1.95	2	1	2	1	6	4						
3.5m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.456	1	1	1	1	1.20	2.00	1	1	1	1	5	3						
3.55m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.456	1	1	1	1	1.20	2.05	1	1	2	1	5	4						
3.6m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.456	1	1	1	1	1.20	2.10	1	1	1	1	4	3						
3.65m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.456	1	1	1	1	1.20	2.15	1	1	2	1	4	4						
3.7m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.456	1	1	1	1	1.20	2.20	2	1	1	1	6	3						
3.75m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.456	1	1	1	1	1.20	2.25	2	1	2	1	6	4						
3.8m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.456	1	1	1	1	1.20	2.30	1	1	1	1	5	3						
3.85m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.456	1	1	1	1	1.20	2.35	1	1	2	1	5	4						
3.9m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.456	1	1	1	1	1.20	2.40	1	1	2	1	4	3						
3.95m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.456	1	1	1	1	1.20	2.45	1	1	2	1	4	4						
4.0m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.456	1	1	1	1	1.20	2.50	2	1	1	1	6	3						

仙台市建設局

85

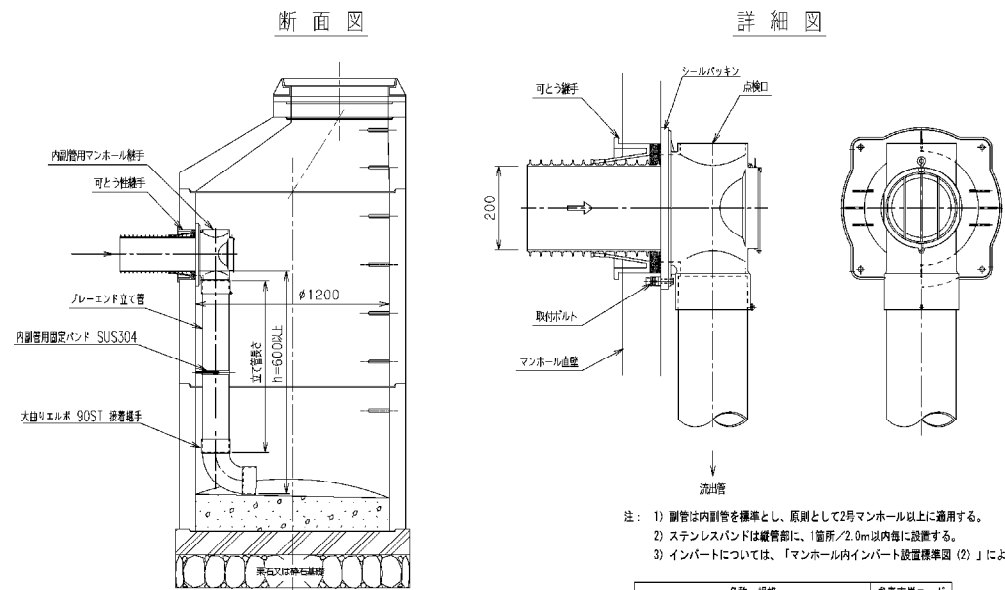
マンホール径 (mm)	主管径及び配管径 (mm)					埋設深 0.15m	管間隙 0.15m	管底高 100mm 埋込 21m	管底高 100mm 埋込 21m	上蓋径ブロック										調整ブロック		止水シート材	
	φ200 b=14mm	φ250 b=26mm	φ300 b=42mm	φ350 b=61mm	φ400 b=85mm					h1 =0.2m	h2 =0.3m	h3 =0.6m	h4 =0.9m	h5 =1.2m	h6 =0.05m	h7 =0.10m	調整 ブロック 用	調整 ブロック 用	調整 ブロック 用	調整 ブロック 用			
2.55m	0.719	0.665	0.611	0.558	0.505	1	1	1	1	1.20	1.4C	1	1	1	1	4	3						
2.65m	0.662	0.615	0.561	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	1.45	1	1	2	1	4	4						
3.05m	0.712	0.665	0.611	0.558	0.505	1	1	1	1	1.20	1.5C	1	1	1	1	4	3						
3.05m	0.662	0.615	0.561	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	1.55	1	1	2	1	4	4						
3.15m	0.712	0.665	0.611	0.558	0.505	1	1	1	1	1.20	1.6C	1	1	1	1	4	3						
3.15m	0.662	0.615	0.561	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	1.65	1	1	2	1	4	4						
3.25m	0.712	0.665	0.611	0.558	0.505	1	1	1	1	1.20	1.7C	1	1	1	1	5	3						
3.25m	0.662	0.615	0.561	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	1.75	1	1	2	1	5	4						
3.35m	0.712	0.665	0.611	0.558	0.505	1	1	1	1	1.20	1.8C	1	1	1	1	4	3						
3.35m	0.662	0.615	0.561	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	1.85	1	1	2	1	4	4						
3.45m	0.712	0.665	0.611	0.558	0.505	1	1	1	1	1.20	1.9C	1	1	1	1	5	3						
3.45m	0.662	0.615	0.561	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	1.95	1	1	2	1	5	4						
3.55m	0.712	0.665	0.611	0.558	0.505	1	1	1	1	1.20	2.0C	1	1	1	1	5	3						
3.55m	0.662	0.615	0.561	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	2.05	1	1	2	1	5	4						
3.65m	0.712	0.665	0.611	0.558	0.505	1	1	1	1	1.20	2.1C	1	1	1	1	4	3						
3.65m	0.662	0.615	0.561	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	2.15	1	1	2	1	4	4						
3.75m	0.719	0.665	0.611	0.558	0.505	1	1	1	1	1.20	2.2C	1	1	1	1	5	3						
3.75m	0.662	0.615	0.561	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	2.25	1	1	2	1	5	4						
3.85m	0.712	0.665	0.611	0.558	0.505	1	1	1	1	1.20	2.3C	1	1	1	1	5	3						
3.85m	0.662	0.615	0.561	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	2.35	1	1	2	1	5	4						
3.95m	0.712	0.665	0.611	0.558	0.505	1	1	1	1	1.20	2.4C	1	1	1	1	4	3						
3.95m	0.662	0.615	0.561	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	2.45	1	1	2	1	4	4						
4.05m	0.712	0.665	0.611	0.558	0.505	1	1	1	1	1.20	2.5C	1	1	1	1	5	3						

仙台市建設局

82

旧版に記載なし

貼付型内副管構造図  
単位: mm



- 注: 1) 副管は内副管を標準とし、原則として2号マンホール以上に適用する。
- 2) ステンレスバンドは縦管部に、1箇所/2.0m以内毎に設置する。
- 3) インバートについては、「マンホール内インバート設置標準図 (2)」による。

名称・規格	参考市県コード
内副管用マンホール継手 2号マンホール用 200×150	ZN20220051
内副管用マンホール継手 2号マンホール用 250×200	ZN20220052
内副管用マンホール継手 2号マンホール用 300×200	ZN20220053
内副管用マンホール継手 2号マンホール用 300×250	ZN20220054
内副管用取付金具 ステンレス製 φ150	ZN20220055
内副管用取付金具 ステンレス製 φ200	ZN50510070
内副管用取付金具 ステンレス製 φ250	ZN50510080

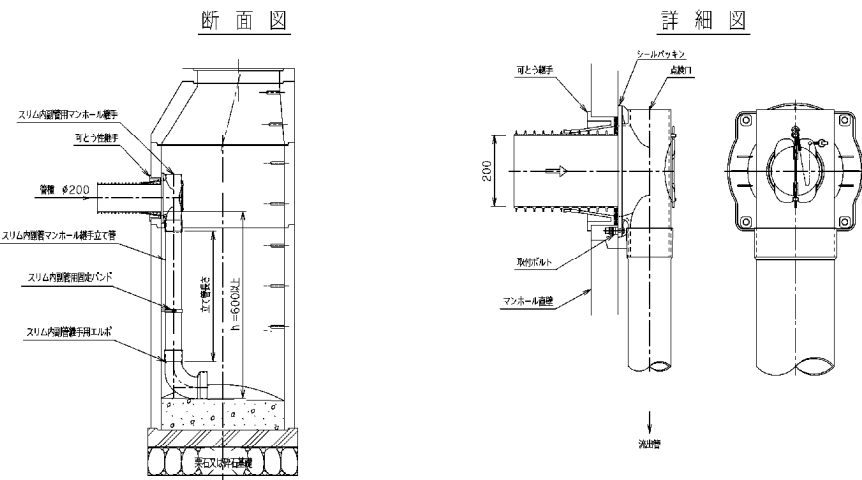
仙台市建設局

90



スリム内副管取付構造図

単位：mm



名称・規格	参考市単コード
点検口付スリム内副管用マンホール継手 1号マンホール用 200×150	ZK02220036
点検口付スリム内副管用マンホール継手 2号マンホール用 200×150	ZK02220037
スリム内副管用マンホール継手用立て管 L=500	ZK02220038
スリム内副管用マンホール継手用立て管 L=1000	ZK02220039
スリム内副管用マンホール継手用立て管 L=2000	ZK02220040
スリム内副管用固定金具	ZK02220041
スリム内副管用固定金具	ZK02220042
スリム内副管用取付ソケット	ZK02220043

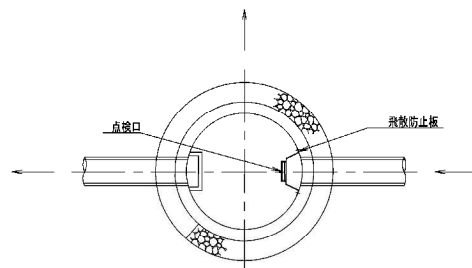
- 注： 1) 1号マンホールへの接続で、本管径200mm以下の場合または、2階  
 所以上の副管があり、本管径が200mm以下の場合  
 2) ステンレスバンドは継ぎ目に、1箇所/2.0m以内毎に設置する。  
 3) インバートについては、「マンホール内インバート設置標準図(2)」による。

仙台市建設局

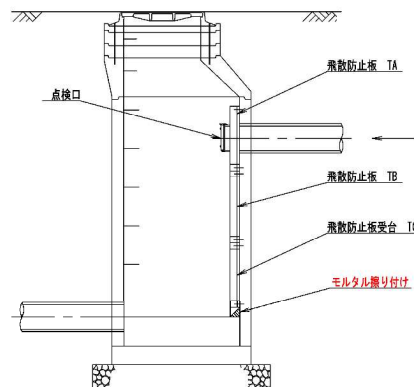
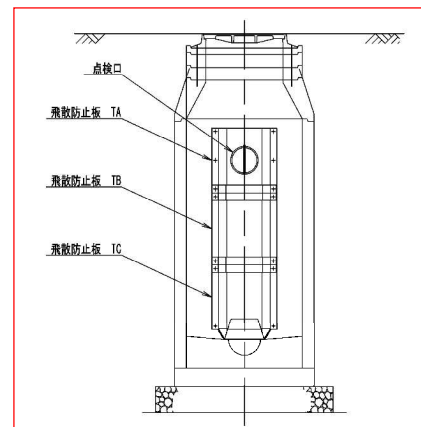
旧版に記載なし

飛散防止板取付構造図

単位：mm



飛散防止板(バツフル板)設置



名称・規格	参考市単コード
TA-200 (点検孔付)	ZK02220019
TB-200	ZK02220020
TC-200	ZK02220021
TA-250 (点検孔付)	ZK02220022
TB-250	ZK02220023
TC-250	ZK02220024
TA-300 (点検孔付)	ZK02220025
TB-300	ZK02220026
TC-300	ZK02220027
TA-400 (点検孔付)	ZK02220028
TB-400	ZK02220029
TC-400	ZK02220030

※材質は樹脂製とする。

- 注1. 1号マンホールへの接続で本管径200mmを超える場合、または、  
 2階所以上の副管があり本管径が200mmを超える場合。

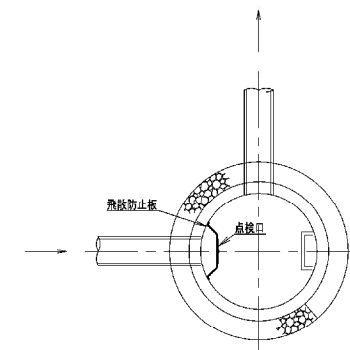
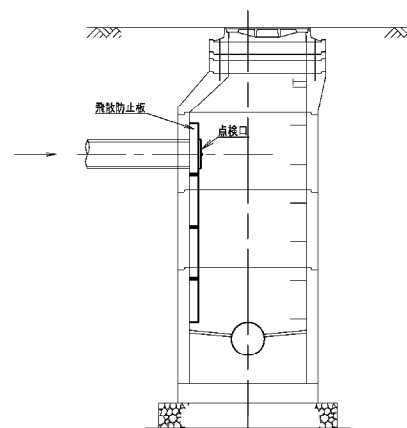
仙台市建設局

飛散防止板設置例(参考図)

単位：mm

飛散防止板(バツフル板)設置

※既設1号マンホールへの接続の場合のみ

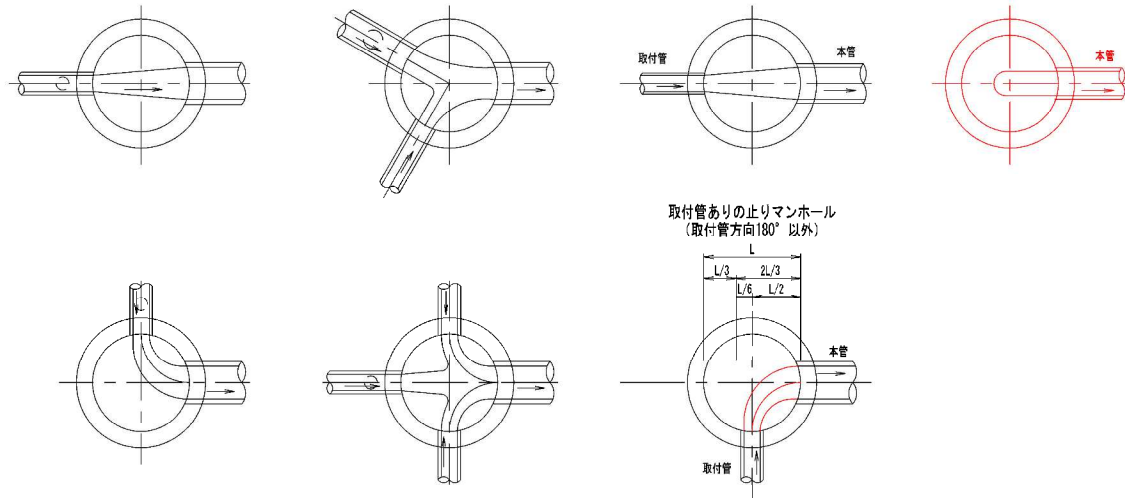


※材質はSUS又は塩化ビニルとする。

仙台市建設局

マンホール内インパート設置標準図 (1)

1. 平面図形状



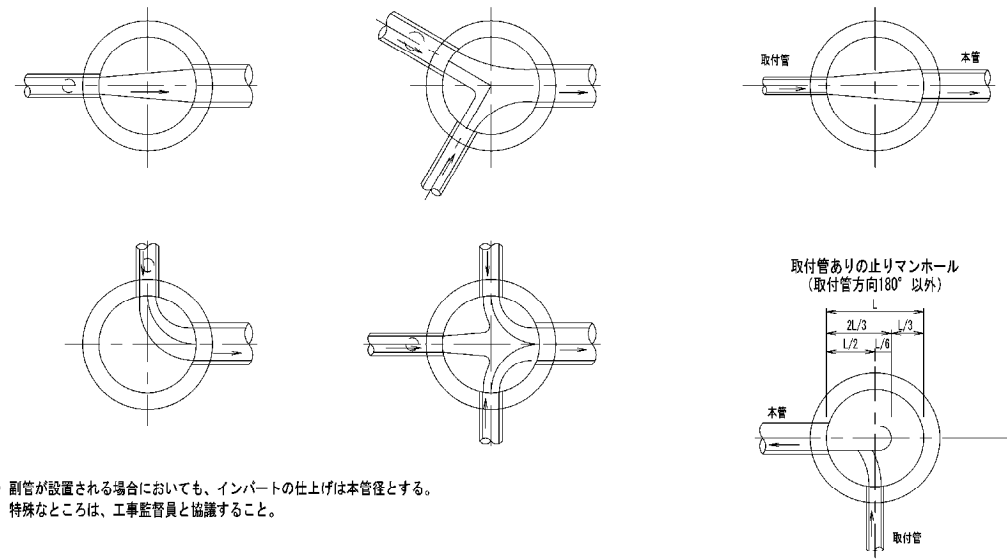
注) 副管が設置される場合においても、インパートの仕上げは本管径とする。  
特殊なところは、工事監督員と協議すること。

仙台市建設局

93

マンホール内インパート設置標準図 (1)

1. 平面図形状



注) 副管が設置される場合においても、インパートの仕上げは本管径とする。  
特殊なところは、工事監督員と協議すること。

仙台市建設局

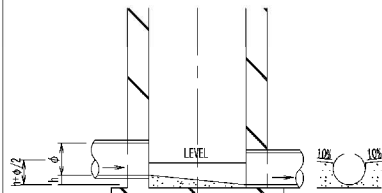
87

マンホール内インパート設置標準図 (2)

2. 断面形状

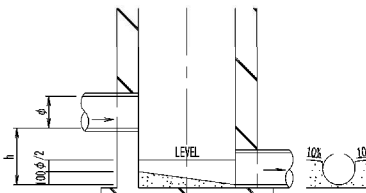
上下流管の段差=h  
上流管の管径=φ

中間マンホール (h<10cm)



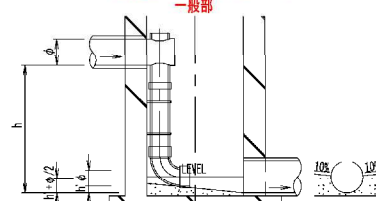
インパートの底辺が上流管底と下流管底ですりつく場合は、天端開口もラッパ状にすりつける。

段差付マンホール (10cm ≤ h < 60cm)



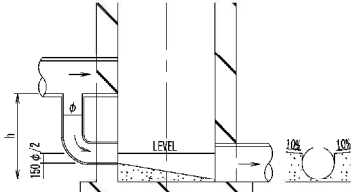
上図のように上流管底とインパート底面に段差がある場合のインパート天端開口幅は、下流管直径のままとする。

内副管付マンホール (h ≥ 60cm) 一般部



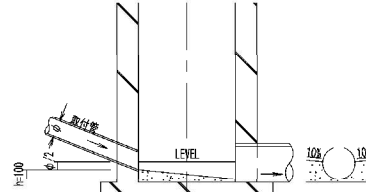
副管管底高は標準では下流管の管頂接合とするが、下流管きよ管径が300mm以上の場合は下流管中心高と副管中心高とを一致させる。

副管付マンホール (h ≥ 60cm)

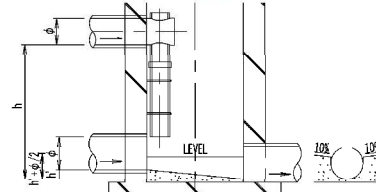


副管管底高は標準では下流管管底より150mm高い位置とするが下流管きよ管径が500mm以上の場合は下流管中心高と副管中心高とを一致させる。

最上流部及び取付管流入中間マンホール



内副管付マンホール (h ≥ 60cm) サービス部



副管下端高は、上流管管頂高さを標とする。

仙台市建設局

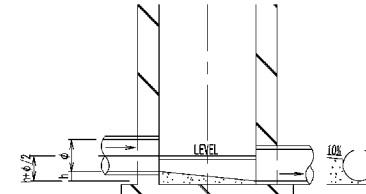
94

マンホール内インパート設置標準図 (2)

2. 断面形状

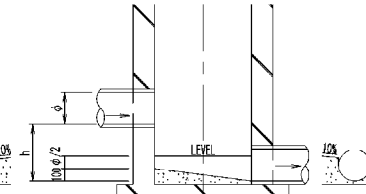
上下流管の段差=h  
上流管の管径=φ

中間マンホール (h<10cm)



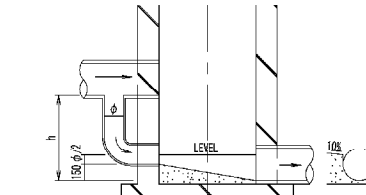
インパートの底辺が上流管底と下流管底ですりつく場合は、天端開口もラッパ状にすりつける。

段差付マンホール (10cm ≤ h < 60cm)

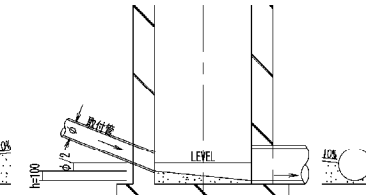


上図のように上流管底とインパート底面に段差がある場合のインパート天端開口幅は、下流管直径のままとする。

副管付マンホール (h ≤ 60cm)



最上流部及び取付管流入中間マンホール



仙台市建設局

88